

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

# RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル  
株式会社 ルネサス テクノロジ  
問合せ窓口 E-mail: support\_apl@renesas.com

製品分類	MPU&MCU	発行番号	TN-740-106A/JA	Rev.	第1版
題名	7542 グループ フラッシュメモリ版ストップモード動作に関する注意事項		情報分類	使用上の注意事項	
適用製品	M37542F8FP, M37542F8GP, M37542F8SP, M37542F8HP(ESのみ。量産予定なし), M37542F8TFP, M37542F8TGP, M37542F8VFP, M37542F8VGP	対象ロット等	関連資料	7542 グループデータシート	

上記適用製品におきまして、メインクロックをオンチップオシレータより供給 (CPUM76=102) 状態にて、STP 命令を実行する場合において、以下の注意事項があります。

## 1. 注意事項

セラミック又はRC 発振 (CPUM4=0) 状態で STP 命令を実行してください。

セラミック又はRC 発振停止 (CPUM4=1) している場合、STP命令実行前にセラミック又はRC 発振許可 (CPUM4=0)状態にしてください。この時、発振安定は必要ありません。

セラミック又はRC 発振を使用しないシステムの場合も同様に、STP命令実行前にセラミック又はRC 発振許可 (CPUM4=0) 状態にしてください。

セラミック又はRC 発振停止 (CPUM4=1) 状態で STP 命令を実行した場合、割り込みによる復帰が正常にできない場合があります。

なお、セラミック又はRC発振許可 (CPUM4=0) 状態でも、STP命令実行によりセラミック又はRC発振は停止するので、STP命令実行時の電源電流 (Icc) は増加しません。

### [補足]

CPUM76 : CPUモードレジスタ (003B16番地)

ビット7、6: クロック分周比選択ビット

b7 b6

0 0 :  $f(\phi) = f(XIN)/2$  (高速モード)

0 1 :  $f(\phi) = f(XIN)/8$  (中速モード)

1 0 : オンチップオシレータから供給

1 1 :  $f(\phi) = f(XIN)$  (倍速モード)

CPUM4 : CPUモードレジスタ (003B16番地)

ビット4: XIN 発振制御ビット

0: セラミックまたは RC 発振許可

1: セラミックまたは RC 発振停止

本件に関するお問い合わせ先：740ファミリMCU技術サポート窓口 [support\\_apl@renesas.com](mailto:support_apl@renesas.com)